

## 令和4年度・第2回 放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 2022 令和4年7月21日(木曜日)
2. 開催場所 弊社事務局
3. 委員出席 委員総数6名、出席委員数5名
  - (1) 出席委員の氏名 小坂康雄、得上成子、中村真弓、栗原さつき、山口隆志
  - (2) 欠席委員の氏名 安藤一宏
  - (3) 放送事業者側出席者名 放送事業者 越野 操

### 4. 議題及び議事の概要、審議内容

はじめに 放送担当より挨拶、審議員委員長より挨拶

- (1) 審議事項 新番組について
- (2) 意見交換 番組編成について
- (3) その他事項 今後の放送番組審議会開催日程について

### 5. 審議機関の答申または意見に対してとった措置の内容

#### (1) 審議事項

(放送担当より)

今回は、4月から始まった新番組「ボンじゃらの防災減災を学ぼう」です。毎週金曜午前10時から10時30分まで放送中です。皆様のご意見をどうぞよろしく願います。

(番審委員より)

ゲストトークが県域のことで、トーク終了後のおさらいコーナーで越谷市ではどのような取り組みをしているのかを紹介していたので、番組構成はとてもいい。

(番審委員より)

防災や減災の話において、二人ともとても聞きやすい声色とテンポでよい。

(番審委員より)

ゲストの方の声が聞き取りづらいほどのBGMのボリュームが気になった。せっかくなので残念。今後はトークを生かしたボリュームと邪魔にならない程度の選曲を希望する。

(番審委員より)

河川がテーマだったのと身近にある調節池の役割、河川改修の詳しいデータなど、とてもわかりやすかった。帰宅途中で橋が渡れなかったときや、欄干が壊れてしまったときなど、災害時の対処法があるとさらによかったと思う。

(放送担当より)

貴重なご意見ありがとうございました。

(2) 意見交換

(放送担当より)

番組について、審議委員の皆様から、それぞれご意見をよろしくお願いたします。

(番審委員より)

開局して7年目で防災番組が開始となり、ようやくここまで来たなと感じる。引き続き、災害時に必要な情報を発信できるよう、日ごろから番組内容のよりよくして欲しい。

(番審委員より)

特別番組や防災ラジオは1度だけで終わらすことなく、いつも聴けるような仕組みをつくるといい。また、自治体の防災訓練の時にみんなで聴くといいと思う。

(番審委員より)

どの番組も、毎回、初めて聴く人がいるというのを念頭に、毎回の放送を取り組んでほしい。また、途中から聴いている人もいるので、番組開始、真ん中、最後と、番組のガイダンスを入れるといいと思う。

(番審委員より)

ゲストを迎えて放送する場合、リスナーが耳を傾けるような、例えば、パーソナリティが質問をして転換を作ったりなど、さらりと流れることなく、途中、話を割って入るくらいやるのは、今後の放送でも使うといいと思う。

(放送担当より)

大変貴重なご意見ありがとうございました。今後とも感染対策をしつつ、スタジオ運営と放送運営をしていきます。ありがとうございました。

(3) その他事項・今後の放送番組審議会開催日程について

次回は 令和4年 9月15日(木) 10:00～

次々回は 令和4年 11月17日(木) 10:00～

上記の通りご予定ください。

6. 審議機関の答申または意見の概要の公表

公表の方法  放送事業者が行う放送(放送番組審議会が、必要とした場合に限る。)

当該事項を記載した書面の放送事業者の本社への備置き

放送事業者の電子公告(<https://koshigayafm.co.jp/>)で行なう。

公表の内容 上記1.3の人数及び4から6までの事項

公表年月日 令和4年7月31日

7. その他参考事項

特に無し

令和4年度	株式会社エフエムこしがや	CFM	第2回番審
-------	--------------	-----	-------